

製品名: RGMA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84676**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 49 kDa ; Observed MW: 37 kDa

抗原情報

遺伝子名	RGMA
別名	Repulsive guidance molecule A; RGM; RGM domain family member A; RGMA;; Repulsive guidance molecule A
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q96B86
免疫原	ヒト反発誘導分子 A 由来の合成ペプチド

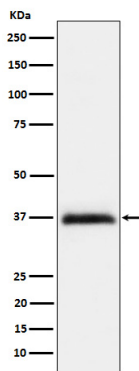
背景

発達期および成体神経系において複数の機能を果たす反発ガイダンス分子 (RGM) ファミリーのメンバー。頭側神経管の閉鎖を制御し、神経突起の伸展と皮質ニューロンの分岐を阻害し、成熟シナプスの形成を阻害する。受容体 NEO1/ネオジェニンに結合すると、UNC5B-ARHGEF12/LARG-PTK2/FAK1 カスケードを介して RHOA-ROCK1/Rho キナーゼシグナル伝達経路が活性化され、神経成長円錐の崩壊と神経突起の伸展阻害につながる。

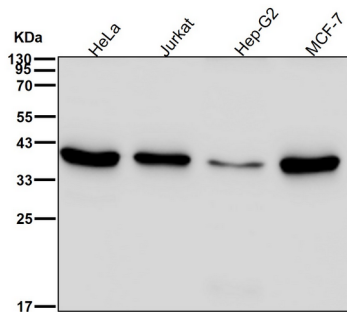
研究分野

-

画像データ



Hela 細胞溶解物中の RGMA 発現のウェスタン ブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。